

平成 25 年 度 予 算  
大 臣 折 衝 結 果

平成 25 年 1 月 27 日  
国 土 交 通 省

## 平成25年度予算大臣折衝の結果

- インフラ再構築の取組  
(防災・安全交付金)

認められた。

- 海上保安体制の強化

認められた。

## インフラ再構築の取組(防災・安全交付金)

- 高度成長期に集中投資を行ったインフラの老朽化が進行し、また、南海トラフ巨大地震、首都直下地震、風水害・土砂災害などの大規模災害が懸念される中、全てのインフラの安全性の徹底調査・総点検を行うとともに、老朽化対策、事前防災・減災対策等を一体的、総合的に実施することによりインフラを再構築することが求められている。
- 国民の命と暮らしを守るインフラ再構築等は、国管理施設はもちろん、地方公共団体管理施設等においても、地域の実情を踏まえつつ、着実に実施していく必要がある。
- このため、直轄の維持管理費を充実・確保する。
- また、「防災・安全交付金」により、地域におけるインフラ再構築(老朽化対策、事前防災・減災対策)及び生活空間の安全確保の取組を集中的に支援する。
- 「防災・安全交付金」について、地方の強い要望を踏まえ、思い切った額として1兆円規模の確保を要求。
- 折衝の結果、財務大臣より、要求どおり認められることとなった。

# 防災・安全交付金による集中的支援 【地域における総合的な老朽化対策】

防災・安全交付金を活用し、老朽化した社会資本等の総点検、それを踏まえた緊急対策、長寿命化等戦略的維持管理・更新の実施をハード・ソフト両面から支援。

## ◆道路構造物(橋梁・トンネル等)の適確な維持管理の推進

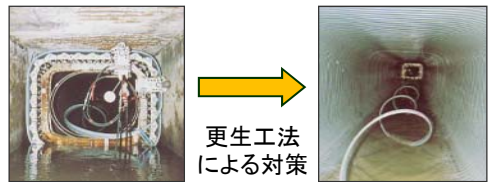


床版コンクリートの剥離    トンネル内のひびわれ発生    橋梁点検状況



橋梁の補修    トンネルの補修

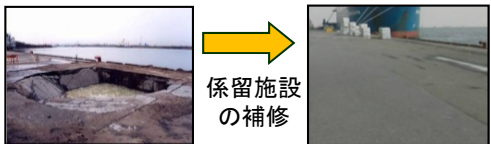
## ◆下水道の老朽化対策等



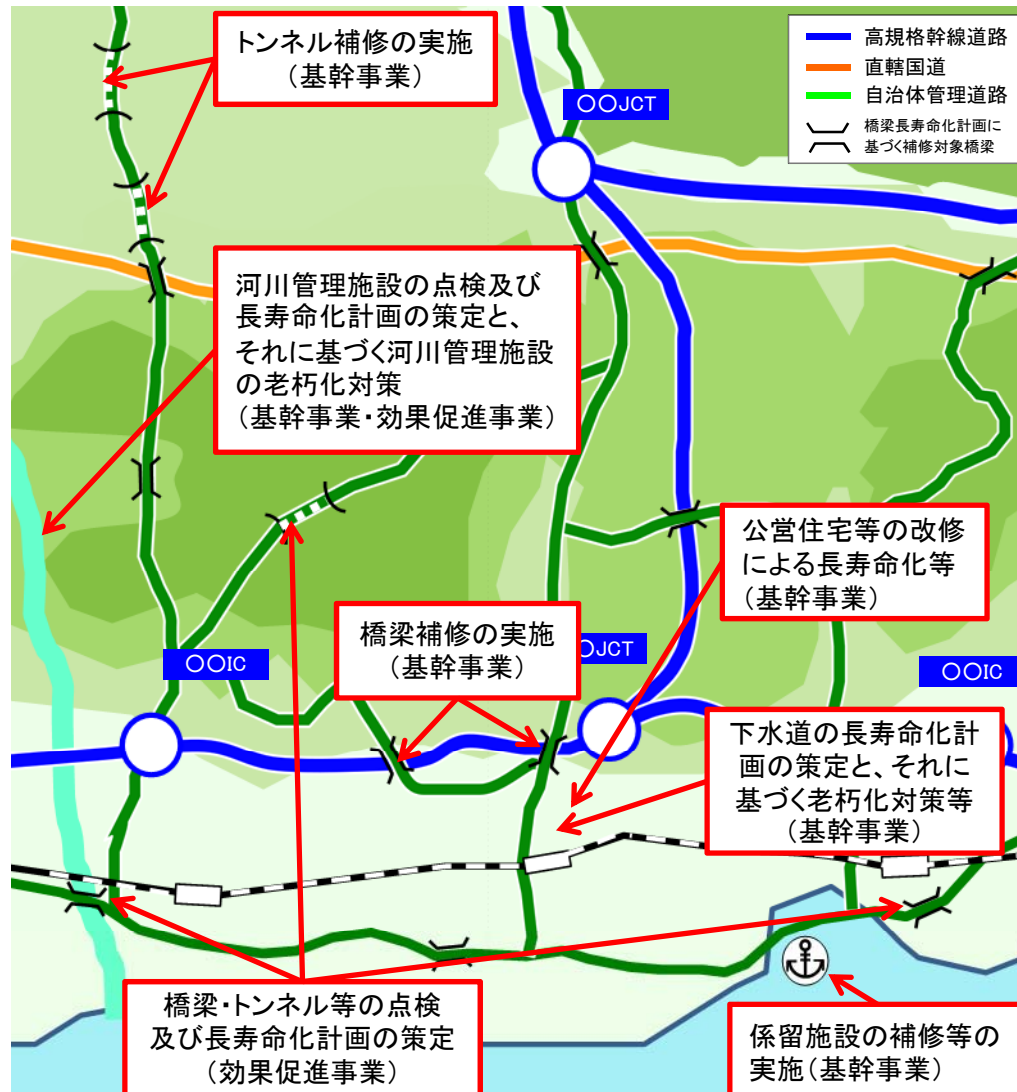
更生工法による対策

道路陥没

## ◆港湾施設の老朽化対策



係留施設の補修



## ◆経年劣化の把握のための河川管理施設の点検



門柱の劣化調査

ゲート設備の水中部調査



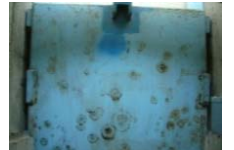
管理用通路空洞化調査

## ◆老朽化の進行等により機能が低下した河川管理施設等の老朽化対策

排水機場のポンプ設備の補修



水門等のゲートの補修・更新



# 防災・安全交付金による集中的支援 【地域における総合的な事前防災・減災対策】

防災・安全交付金を活用し、地震・津波や頻発する風水害・土砂災害に対する事前防災・減災対策をハード・ソフト両面から支援。

## ◆道路の地震対策、風水害・防雪対策



橋脚の耐震補強



盛土のり尻補強



斜面崩落防止対策



雪崩防止対策

## ◆内水氾濫が発生した地域における下水道整備



雨水貯留管



ポンプ場

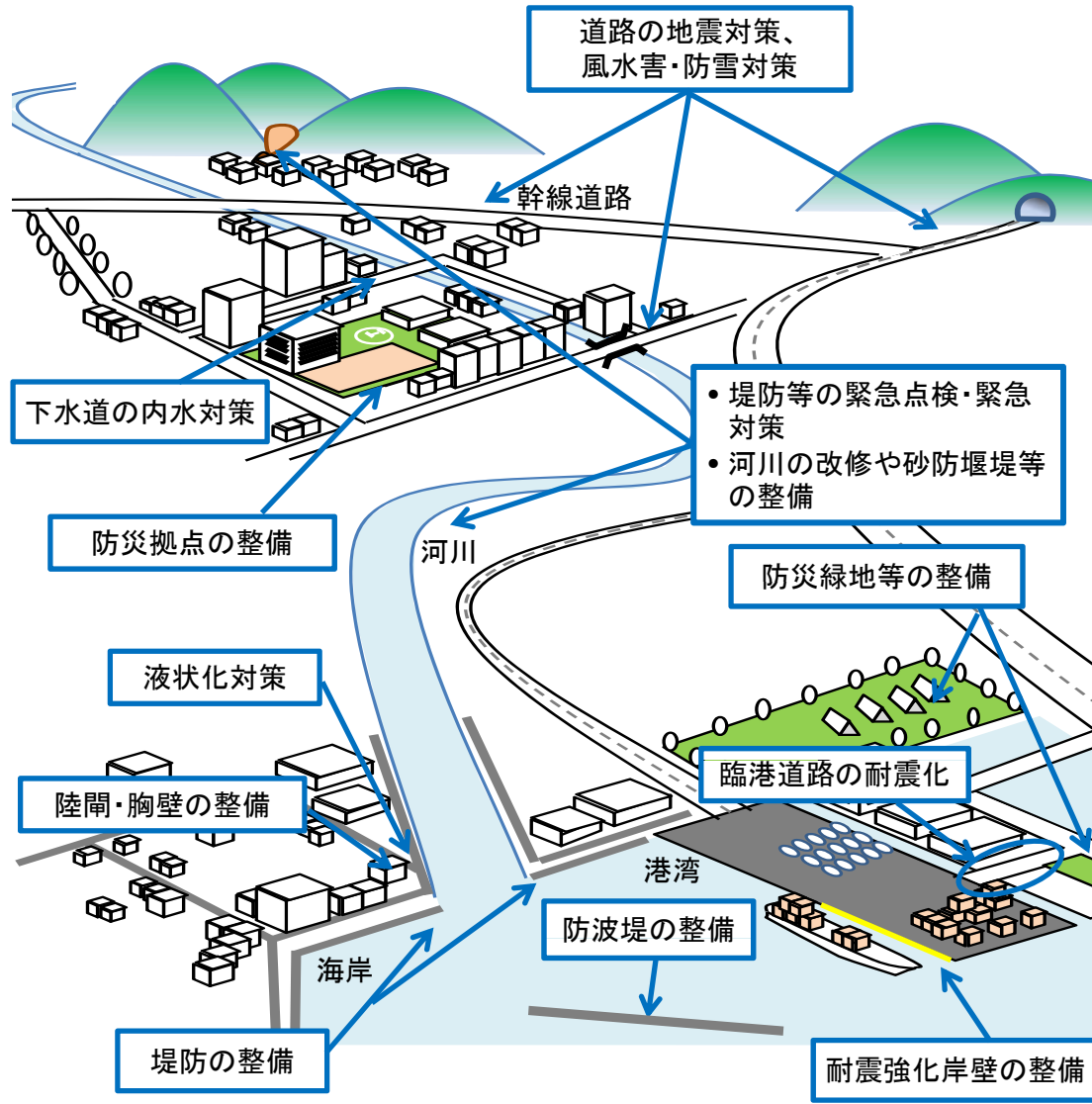
## ◆津波、高潮等の被害から海岸を防護するための堤防等の整備



堤防



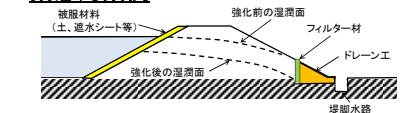
陸閘



## ◆河川堤防の緊急点検結果に基づく緊急対策



緊急対策例



## ◆近年災害が発生した地域等における水害・土砂災害対策



砂防堰堤

## ◆港湾の地震・津波、風水害対策



防波堤

## ◆効果促進事業(ソフト)の活用



水防訓練の実施 浸水ハザードマップの作成・活用  
避難計画の策定・訓練の実施  
(高齢者をマンツーマンでケアするなど公助・共助の促進)



# 防災・安全交付金による集中的支援 【地域における総合的な事前防災・減災対策】

今後発生すると想定されている首都直下地震、東海・東南海・南海地震等における地震被害の発生を防止するため、防災・安全交付金を活用し、密集市街地の防災性の向上、住宅・建築物等の耐震化等に対し、ハード・ソフト両面から支援。

## 避難所、劇場等の天井の耐震化

○天井脱落の被害事例



体育館



音楽ホール

## エレベーターの安全確保

- ・既設エレベーターの防災対策改修※の支援  
※P波感知型地震時管制運転装置の設置、主要機器の耐震補強措置、戸開走行保護装置の設置

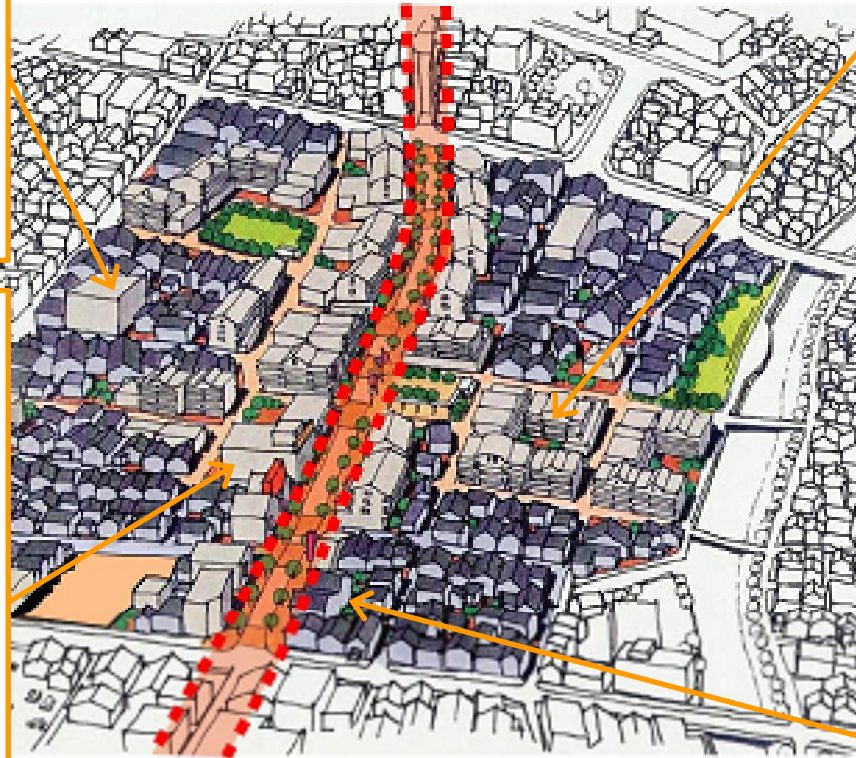
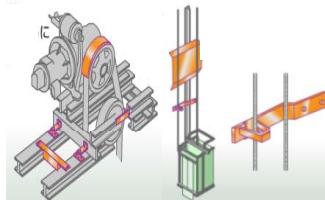
P波感知型地震時管制運転装置の設置



P波を感知し、最寄り階に自動運転し、乗客をエレベーター外に避難させる

主要機器の耐震補強措置

(網車からのロープの（昇降路内突出物へのロープはすれ防止措置の例）等の絡まり防止措置の例）



## 公営住宅の耐震化



▲外付けフレーム耐震補強

## 密集市街地の防災性の向上

- ・老朽建築物の建替・除却、空地・避難路の整備
- ・延焼防止のための建築物の不燃化

【効果促進事業の活用】

- ・地域住民主導の避難訓練の実施支援
- ・地域住民による防災マップの作成支援

## 住宅・建築物の耐震化

- ・避難路沿道等の住宅・建築物の耐震化の促進

○耐震改修イメージ

<戸建住宅>

筋交いによる補強  
構造用合板による補強  
筋交いのタスキ掛け



<建築物>



鉄骨ブレースによる壁の補強

# 防災・安全交付金による集中的支援

## 【地域における総合的な生活空間の安全確保】

通学路の安全確保のため、緊急合同点検により抽出された要対策箇所について、道路管理者と学校・保護者・警察等が連携して検討した対策に対し、防災・安全交付金を活用し、実施を支援。

### 【対策検討メンバー】

- ・教育委員会、学校、PTA
- ・道路管理者
- ・警察署
- ・利用者団体

- ・自転車と徒歩通学する児童が錯綜し危険

### ＜対策メニュー＞

- ・自転車通行位置の明示



- ・踏切内の歩行空間が狭く、児童と車が輻輳し危険



### ＜対策メニュー＞

- ・踏切の拡幅

- ・歩くのに電柱が邪魔になり、車道へ入り込む



### ＜対策メニュー＞

- ・無電柱化

- ・狭い歩道の中にバス停があり、バスを待つ人がいる場合など危険



### ＜対策メニュー＞

- ・バス停周辺歩道整備

- ・歩道の幅員が狭く、また段差がある箇所があり転倒の危険

### ＜対策メニュー＞

- ・歩道拡幅
- ・バリアフリー化



- ・国道の渋滞を避けて抜け道として利用する大型車が多いが、歩道がなく危険



### ＜対策メニュー＞

- ・大型車通行禁止
- ・狭さくの設置



■■■■ : 通学路(学校指定)

● : 要対策箇所

## 海上保安体制の強化

- 昨今の尖閣諸島周辺海域における事態を踏まえ、領海警備に万全を期すため、早急に大型巡視船による専従体制を確立する等、海上保安体制を強化する必要がある。
- このため、領海警備体制の強化等に必要な要員確保や補正予算等により着手している大型巡視船の建造等を、引き続き確実に推進するため、海上保安庁予算1,765億円を要求。
- 折衝の結果、財務大臣より、要求どおり認められることとなった。



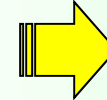
# 海上保安体制の強化(尖閣諸島関係)

## 現状と課題

中国公船が徘徊  
(常時5隻程度)

海上保安庁の対応

応援派遣等により勢力を確保  
公休日勤務等の暫定措置により対応



専従体制の確立が急務

## 大型巡視船14隻相当の専従体制を確立(平成27年度末を目標)

### ○大型巡視船の増強等(大型巡視船14隻相当)

#### ①新規建造(1,000トン型巡視船:12隻相当)

- ・1,000トン型巡視船6隻(24年度補正予算~27年度4ヵ年国庫債務負担行為)  
※稼働率向上を図ることにより8隻分の能力を確保
- ・1,000トン型巡視船4隻(24年度一般予備費~26年度3ヵ年国庫債務負担行為)

#### ②既存船の活用(ヘリコプター搭載型巡視船:2隻)

- ・ヘリコプター搭載型巡視船2隻の配属替え・投入  
(うち1隻は、延命・機能向上(24年度補正予算~26年度3ヵ年計画))

#### 専従体制が確立するまでの間(25、26年度)

- ・解役予定の1,000トン型巡視船6隻の暫定使用により派遣体制を強化

### ○要員の確保と養成

- ・25年度は400人の増員要求(概算要求時)
- ・26、27年度も新たに必要な船員(約500人)を確保

### ○石垣港の拠点機能の強化

- ・石垣港における大型巡視船停泊可能隻数を概ね倍増

# 海上保安体制の強化

## 平成25年度当初予算の概要

1,765億円

### 1. 我が国領土・領海を堅守するための海上保安体制の強化

364億円(対前年度 1.4倍)

#### (1) 巡視船艇・航空機等の整備

- 巡視船艇の整備 20隻
- 航空機の整備 13機
- 船艇・航空基地施設の整備

#### (2) 領海警備等における現場対処能力の強化等

#### (3) 情報管理の強化

2. 東日本大震災の教訓を踏まえた防災体制の強化 27億円

3. 海洋調査等の推進 18億円

4. 安全・安心で効率的な海上交通の実現(公共事業) 38億円

5. 巡視船艇運航費等経常経費 446億円

6. 人件費 872億円

## 領海警備体制強化関連予算

644億円(対前年度 2.4倍)

## 平成24年度補正予算・予備費

280億円

### 平成24年度補正予算

117億円

#### 巡視船・航空機の整備

- 巡視船の整備 7隻 100億円
- 航空機の整備 1機 17億円

### 平成24年度予備費

163億円

#### 巡視船艇・航空機の整備

- 巡視船艇の整備 8隻 114億円
- 航空機の整備 3機 35億円

デジタル方式画像伝送システム

14億円

※平成25年度当初予算(領海警備体制強化関係)と関連する補正予算項目及び予備費項目を抽出したものの。